

チーバくんグローバルパートナーズ意見交換会

日 程：2025年12月17日（水曜日）

開催方法：オンライン開催（Zoom）

出席者：チーバくんグローバルパートナーズ8名、千葉県国際課3名、千葉県観光政策課5名、
千葉県観光物産協会4名、千葉県国際交流センター職員3名

次 第

1. 課長挨拶

2. 自己紹介

3. 意見交換会

千葉県の観光について

4. その他

千葉県国際交流センター事業紹介

意見交換会詳細

テーマ：千葉県の観光について

（1）これまでの日本の旅行で、千葉県以外で一番心に残った場所や体験は何ですか。

・留学生時代に、フェリーで茨城の大洗から北海道の苫小牧まで行き、レンタカーで北海道を一周した。来日当初は海鮮料理が苦手だったが、本場で食べたイクラ丼の美味しさに感動した。また、当時はお金が無かったので、健康ランドで寝泊まりをしていたが、そこで他の観光客たちと交流できたことがよかったです。車で道を間違えるトラブルもあったが、その際に出会った地元の高齢者にお茶やお菓子を振舞われたことが、温かいおもてなしとして最も深く記憶に残っている。

（観光政策課）母国の車は右ハンドルか。日本のレンタカーを運転することに抵抗はなかったか。

⇒・母国も右ハンドルであるため、抵抗はなかった。ドライブが大好きだったので、来日してすぐ日本の免許に切り替えた。

（観光政策課）宿泊する健康ランドは事前に調べて行ったのか。

⇒・当時はまだSNSもない時代だったので、行き当たりばったりで泊まれる場所をその都度探した。

・来日当初、留学生向けの団体ツアーで和歌山県の高野山へ行った。宿坊に泊まり精進料理を食べたのが新鮮な体験だった。また、北海道旅行にも行った。行きは寝台列車、帰りはフェリーで、札幌のビール工場見学を満喫した。そこで初めて、日本の温泉には混浴もあるということを知ったが、入る勇気はなかった。

・いろいろな場所に旅行をしたが、その中でもよかつたのは北海道、沖縄、福岡で、一番印象

深かった場所は草津である。食べ歩きやライトアップ、湯もみ体験など、色々な素晴らしい経験ができた。温泉について、来日当初は他人と一緒にお風呂に入ることに抵抗があったが、今では大好きになった。

(観光政策課) 千葉県は全国で10番目に温泉が多いことを知っていたか。千葉県の温泉に行ったことはあるか。

- ⇒・先日、ツアーでホテル三日月へ行った。
- ・鴨川、養老渓谷、銚子の温泉には行ったことがある。あまりピンとは来なかつたが、千葉県に温泉がそれほど多いとは知らなかつた。もっと宣伝すべきだと思う。
 - ・家族と一緒によく旅行をする。夏は大洗サンビーチ、夏以外の季節は那須高原に行くことが多い。大洗サンビーチは、海、キャンプ場、海の幸、天然温泉などが楽しめるので、日帰りでも泊まりでもよく行く。那須高原は、自然、アトラクション、牧場、農家体験などがある。大洗も那須高原も、複数の要素が一か所のエリアに集まっているところが魅力的だと思う。千葉県にももちろんそれらの要素はあるが、広いので、移動に時間がかかるてしまう。

(2) 千葉県の中で、行ってよかつた場所はどこですか。食べた料理や、お店、祭り、自然、文化で印象に残ったものはどんなものですか。

- ・勝浦市の「ビッグひな祭り」が、日本の文化と歴史を感じられてとても楽しかった。勝浦市は神社仏閣なども多いが、外国人にはあまり知られていない。勝浦市のひな祭りについてインスタグラムに投稿したところたくさんの方々の反響があったので、もっと勝浦市の魅力を紹介していきたい。
- ・外国人のSNSなどを見ると、観光地として圧倒的に人気なのは京都だが、養老渓谷の紅葉は京都に負けないくらい美しく、世界観があつて素晴らしいと思う。せっかくそれほどの名所があるので、外国人に知られていないのはもったいないので、もっと宣伝してほしいと思った。また、鋸山も良い場所なので魅力を発信してほしい。

(観光政策課) 県でも、養老渓谷の観光地としてのポテンシャルを高く評価しており、二次交通の課題への対応や、地域の魅力向上に向けた施策を検討しているところ。

- ⇒・養老渓谷に行ったときに道が渋滞していて大変だった。これから観光のツアー客などが増えるとますます道路の混雑が深刻になると思うので、ぜひ交通に関する対策をしていただければと思う。
- ・千葉にも温泉、紅葉、桜の名所はあるが、観光客は近隣の県に行ってしまうことが多い。千葉県内で観光ツアーを組もうとすると、どうしても大型バスが通れる道や駐車場が限られてしまい、団体客に対応できる店も少ない。千葉県の観光を振興するには、ライバルである近県の

観光スポットを知るべき。鋸山はとてもいい場所だと思う。また、九十九里浜のセールスポイントは綺麗な海や星空だと思うが、他の県との差別化が難しい面がある。

- ・母国は仏教徒が多いので、お寺の観光が好きな人が多い。今まで行った中で一番よかったのは成田山新勝寺で、食べ歩きや、着物での街歩き、紅葉、インスタ映えスポット、縁結びなど、若い人が好きな要素が多く、自分も毎年訪れている。
- ・人が多い場所よりも、佐原や成田山など古い町並みが好きで、よく家族と一緒に訪れる。また、以前留学生の交流ツアーを企画しマザー牧場へ行ったことがあるが、ゲーム、食事のほかに団体ができるアクティビティが限られることや、道が狭いこと、周辺に団体予約ができる飲食店や宿が少ないことなどが難点だった。団体の受入れ体制がもっと整うといいと思う。

(3) どんな体験をするのが好きですか。

- ・最近、金継ぎ体験や武術見学をしたが、どちらも限られた時間の中でとても濃い経験となった。歴史や伝統文化を体感できるのは魅力的。
- ・海外から来日した研修生たちが相撲好きだったので、体験ができる相撲部屋を探したことがあるが、あまり情報が見つからなかった。千葉県にも相撲部屋はいくつかあると思うので、外国人が日本の伝統的なスポーツに触れられる機会が増えるとよい。

(観光物産協会) 千葉県観光物産協会で、今年度新たに調査したインバウンド向け体験として、習志野市にある阿武松部屋での「相撲部屋の朝稽古見学」がある。そのほか、居合、和太鼓、学校生活体験、学校施設での宿泊体験などの体験コンテンツについても、PRを進めているところ。

- ・マザー牧場やアンデルセン公園は、乳しづりやチーズ作り、ワインナー作りなどの体験ができるので、家族で楽しめる。また、日本のフルーツはとても丁寧に育てられており美味しいので、外国人に人気があり、海外から来る親戚や友人をフルーツ狩りに連れて行くととても喜ばれる。特にイチゴ、梨、みかんなど。
- ・千葉県産のイチジクもとても人気がある。
- ・旅行先の郷土料理を食べるのが好きだが、食べられる場所が少ないと感じる。千葉県の郷土料理である太巻き寿司は見た目も綺麗なので、食べられる場所が増えるとよい。
- ・5年ほど前にツアーで房総に行き、地域の方々と一緒に太巻き寿司を作って食べたことがとても印象に残っている。地域住民との交流も、体験の中の魅力の一つだと思う。
- ・佐原で食べたうなぎがとても美味しかった。中国や台湾でもうなぎを食べるが、日本のうなぎは特に美味しいとの声もある。また、抹茶アイスも外国人に人気である。

(4) 千葉で旅行をしていて困ったことや、「ここがもっと良くなるといい」と思ったことはありますか。

- ・お酒が好きなので、本来は車ではなく公共交通機関を使いたいが、交通の便が悪く、移動に時間がかかることが多い。特に養老渓谷あたりは電車の路線が縮小していたり、バスの本数が少なかつたりして不便だと感じる。
- ・鉄道の駅で、どのホームからどの電車に乗ればよいか聞きたくても、駅員さんが少なくて聞けず、困ることがある。日本に住んでいる自分でも乗る電車を間違えてしまうことがあるので、観光客の方はもっと大変だと思う。
- ・成田周辺など、駅で自転車を借りてサイクリングができる環境が増えつつあるのは良いと思う。ただ、年配者向けのサービスではない。
- ・車を運転しているときに、地方に行くほど標識や看板が少ないと感じる。道を間違えて時間をロスしてしまうことがよくある。
- ・先日、家族と一緒に湯布院へ行ったが、一つのエリアに、伝統、食べ物、お店、町並みなどがコンパクトにまとまっていてよかった。主要駅から高速バスが出ていてアクセスもよく、観光客がとても多かった。千葉県内でも、例えば佐原などは伝統的な町並みもあって良い町なので、シャトルバスを運行するなどしてもっと開発できれば、観光客が空港に行く前に立ち寄れるような場所になるのではないかと思う。
- ・母国の友達と旅行しているとき、母国語で会話をしていると周囲の人からの視線を感じ、気まずい思いをすることがある。
- ・見るだけで終わってしまう観光スポットだと外国人が興味を持ちにくいので、そこで何ができるかが重要だと思う。

(5) バスを利用する事が難しいと感じたことはありますか。

- ・外国人にとって、地方のバスを利用するにはハードルが高いと感じる。バスに乗り間違えた外国人を案内することがよくある。
- ・電車の場合はインターネットで情報検索しやすいが、バスは検索しても情報がなかなか出てこない。また、多言語での車内アナウンスや表示がないバスが多い。
- ・支払い方法が前払い、後払い、現金のみなど、バス会社によって違うので複雑である。もっと分かりやすいシステムに統一した方が良いと思う。
- ・バス停の時刻表が見づらいと感じる。複数のルートのバスが走っている場合、どの時刻表を見ればよいのか分からぬ。
- ・地方に行った際にバスを利用することが多いが、遅延が多い印象。外国人は小銭での支払いに慣れておらず時間がかかることがあるので、キャッシュレス決済の導入がもっと進むとよいと

思う。

また、バスの情報を調べるときに、グーグルマップだと行き方などを細かく案内してくれるがバス停が表示されない場合があり、ヤフーマップだとバス停が表示されふりがなもあるので、両方の地図を使い分けている。また、バス停のQRコードから多言語で運行情報等を見られるようになると便利。

(6) クチコミを見て、旅行の場所を決めることがありますか。

- ・ユーチューブ、インスタグラムなどを参考にする。レストランに行く前はグーグルマップのクチコミを見て、その店に行くかどうか決める。また、電車内のモニターに流れている広告で面白そうな場所があったらインターネットで調べてみて、実際に行くこともある。
- ・グーグルマップのクチコミより、SNSの投稿の方が、信憑性が高いと感じるので、X（旧ツイッター）やユーチューブを見て参考にすることが多い。
- ・観光案内所などに置いてあるフリーマガジンの情報を参考にする。写真なども載っていて見やすいので、インターネットが得意でない人にとっては役立つと思う。
- ・観光スポットやグルメ情報を調べるときに、ティックトックやグーグルのクチコミをよく見る。また、フェイスブックで母国の人達が旅行情報を発信しているコミュニティも参考にする。
- ・最近は、ChatGPTなどの生成AIを活用することが多い。観光地の情報などを正確に教えてくれるところがよい。

(7) 「ちば観光ナビ」「Visit Chiba」を知っていますか。掲載してほしい情報はありますか。

- ・「ちば観光ナビ」にモデルコースが載っていて参考になるが、写真だけでなく動画を増やすとよりイメージしやすいと思う。また、ユーザーが実際に観光した際のレビューや写真、動画を投稿すると特典がもらえる仕組みを作り、生の声を発信してもらうと良いと思う。
- ・「Visit Chiba」には色々な動画が載っていて魅力的だと思った。企業見学の情報も載せてほしい。
- ・千葉県を知らない友人に千葉県の観光スポットを紹介したいとき、自分の母国語で書かれたパンフレットやサイトが少ない。「Visit Chiba」のWEBサイトは自分の母国語には対応していないかった（※）。また、その観光地の魅力が想像できるように、もっと多くの写真を載せてほしい。

※ 対応言語は英語、中国語（繁体字・簡体字）、タイ語

(8) 外国の人があれぞれ楽しむために、あつたら嬉しいサービスや体験、アイデアがあれば教えてください。

- ・最近はオーバーツーリズムや外国人観光客の迷惑行為などに関するニュースもあるが、観光客

を歓迎するフレンドリーな空気感を作れたら良いと思う。また、幕張メッセで多くの国際イベントや会議などが開催されているので、そのために来日した人達にも、イベントの合間や終了後に観光してもらえるようアピールした方が良い。

- ・ディズニーリゾートや幕張メッセにはせっかく多くの観光客が集まるのに、県内に留まらずに他県に流れてしまうことが多い。例えば宿泊先で他の観光地の情報提供をするなど、千葉県内の観光をアピールすることが大事だと思う。また、イスラム教の人たちにとって、ハラルフードに対応している飲食店の情報があると良い。
- ・インスタグラムで藍染めや金継ぎについて投稿すると反響があり、体験したいという人もいるが、どこで体験できるのかという情報が少ない。日本文化の体験などについて、もっと情報が得られやすくなると良い。
- ・観光について学んでいる留学生がガイドを行う観光ツアーがあれば、留学生の勉強にもなり、観光客は母国語で説明を受けられるので双方にとって嬉しいと思う。また、寿司づくりなどの食文化体験をもっと増やしてほしい。観光地が点在しているので、それぞれが連携して、移動も含めたストーリー性のある観光体験を提供できると良い。そして写真撮影スポットやサービス、京都の餅つきパフォーマンスのようなライブ感のある演出の動画コンテンツを充実させることで、SNSなどで拡散されて集客につながると思う。